

—— とっとりAI・AX実践プログラム | 支援機関向けのご案内

県内企業のAI相談に、 地域で対応できる体制の構築

企業のAX導入に、支援者として参画する5か月

ご参加いただく想定

支援機関向け研修 10月27日(火)／1日

ワークショップ 11月12日／終日

伴走支援への参画 原則オンライン／4～5回

成果発表会 2027年2月／半日

企業を支える側として、ご参画いただきます

AX=AIを起点に業務や組織を変革すること

本プログラムでは、事業終了後も県内企業のAI・AX相談に地域で対応できる支援体制の構築を目指します。

支援機関の皆さまにお願いしたいこと

お願いすること

- 企業の業務を知る立場から、課題の整理に参画する
- 企業の変化と新たな課題を、期間を通して把握する
- 事業終了後も、その企業の相談先として継続する

AIの専門家になっていただくことを求めるものではありません。

お願いしないこと

- AIツールの選定・設定など、技術的な支援
- 伴走支援の進捗と、実施内容の設計
- 企業の成果に対する責任

参画のメリット

ご参画いただく意義

今後、県内企業からAI活用に関する相談の増加が想定されます。

その際に必要となるのは、企業支援の実務経験です。



01

相談対応の手順を 習得できる

企業支援の進め方を、一連の流れで習得できます。



02

企業の課題を 一次情報で把握

企業が抱える課題を、当事者から直接把握できます。



03

成果測定の手法を 習得する

変化を定量的に示す手法を習得できます。



04

事業終了後も 相談先として継続

継続的な相談関係を築き、翌年度以降は主体的な支援側へ移行できます。

AIに関する専門知識は不要です。

必要なのは、企業の業務を知っていること。AIの活用方法や技術面は、アンドドットと一緒に検討します。

→ HOW IT WORKS

ご参加いただく4つの場面と、 それぞれの想定稼働。

STEP 1 | 支援機関向け研修

企業のAX相談への 対応手法を習得

10月27日(火) エキパル倉吉／1日。AIの基礎知識と、企業からのAX相談への対応手法を習得します。ワークショップ参画に向けた前提となる研修です。

想定稼働:1日(会場での受講)

得られるもの:AIの基礎知識、相談対応の手法

STEP 2 | ワークショップ

企業の課題整理・ ロードマップ作成を支援

11月12日／終日(鳥取大学を想定)。企業のグループに支援者として参画し、業務・課題の聞き取り、現状と理想の棚卸し(AX方針書・AIロードマップ)の作成にご参画いただきます。進行はアンドドットが担当します。

想定稼働:終日1回(10:00～16:30を想定)

得られるもの:課題整理の手法、企業の生の課題

STEP 3 | 伴走支援への参画

企業の実装過程を 継続的に把握

12月～2月上旬。伴走支援対象3社に、支援チームの一員として伴走定例・成果発表にご参画いただきます。原則オンライン。進行とAI活用の具体的支援はアンドドットが担当、皆さまは企業の変化や課題を把握する立場でご参画いただきます。

想定稼働:4～5回(1回60～90分)

得られるもの:実装の実務知見、企業との継続的な関係性

STEP 4 | 成果発表会

伴走で得た企業の変化・ 知見を共有

2027年2月／半日。伴走支援対象企業の発表に続き、支援機関として把握した企業の変化・知見を共有いただきます。

想定稼働:半日1回(共有は10分程度)

得られるもの:対外発信の機会、事例集

ご参加のスケジュール ※調整により変更となる場合があります



ご参加にあたって

対象

県内の商工団体・公的支援機関・金融機関

募集枠

8機関程度

想定稼働

研修1日+ワークショップ終日+
伴走支援参画4～5回+
成果発表会半日

ご参加人数

各機関1～2名

申込方法・申込期限

担当より個別にご案内いたします
10月16日(金)

参画範囲

研修・ワークショップ・伴走支援・成果発表会のすべてにご参画いただきます

お申込み・お問い合わせ

アンドドット株式会社

担当 | 法花(ほっか)

TEL | 080-1946-4999

MAIL | takumi.hokka@and-dot.co.jp

参加をご検討中の段階でも、
お気軽にお問い合わせください。